

【日本語版】

沖縄県指定
名勝

万座毛

万座毛は、恩納村役場の北西に位置する岬で、切り立ったサンゴ礁の芝生台地になっています。

岬の先端に立つと、コバルトブルーの海が広がり、打ち寄せる波が岩に砕け散って、眼下には白い波の花が咲いているのが見えます。また、名護湾をまたいだ北方には、北部半島の山並みや伊江島タッチューが望め、東方には恩納村のシンボルである恩納岳の雄大な姿を見ることができます。

尚敬王が1726年に万座毛を訪れ「万人を座するに足る毛」と褒め称えたことから、万座毛と名づけられたといわれています。

Manzamo is a promontory northwest of the Onna municipal office, and is a flat, grassy area on a sheer coral reef. From the edge of the promontory, one can see an expanse of cobalt-blue sea.

The waves breaking on the rocks throw up a white spray just below one's eyes. Nago Bay to the north, the mountains on the northern part of the peninsula, the Iejima Tacchu, and Mt. Onna, the symbol of Onna Village in the east, form a truly magnificent sight.

King Shokei visited Manzamo in 1726. He praised the site, saying that it was worth allowing 10,000 people to sit and enjoy the area. This is the origin of the name in Japanese.



恩納村

名勝地としての景観



万座毛は、四季折々のいろいろな景色を見せてくれる場所となっています。コバルトブルーの東シナ海が前面に広がる景観と、後方には恩納村を代表する恩納岳の雄大な景色がご覧になれます。ときには、荒波が石灰岩台地の壁面にぶつかるなど自然の激しい一面もみられます。

毛(もう)とは原っぱという意味だよ！



海の深いところと浅いところでコントラストがみられます。

この海域ではサンゴの養殖事業が行われています。

万座毛の地形

万座毛一帯は主に琉球石灰岩で構成され、石灰岩堤、ノッチ、キノコ岩、海食洞、波食台などで形成されています。万座毛の海底には2箇所ほど海底鍾乳洞が確認されています。万座毛から見て北東側にはトベラと呼ばれるキノコ岩がみられます。



万座毛からみえるトベラ

沖縄県指定 天然記念物

まん ざ もう せつ かい がん しょく ぶつ ぐん らく
万座毛石灰岩植物群落



万座毛は恩納集落の西側に位置し、新生代第四世紀の琉球石灰岩からなる崖地です。海側は高さ約20mの崖となっており、崖の上の平坦地はコウライシバやタイワンカモノハシが茂った広場となっています。琉球石灰岩の表面は、雨や風にけずられて穴があいていたり、割れ目があったりします。ここは水分が少なく、たえず強い塩風が吹きつける厳しい環境条件の場所です。そのため、厳しい環境に耐えられるような特殊な植物が多く生えています。例えば、ハナコミカンボクやオキナワスミレ、オキナワマツバボタン、イソノギクなどは、琉球列島の植物の分布を考える上で重要な種類です。



琉球の女流歌人 恩納ナビー

恩納村に生まれた女流歌人恩納ナビーは、18世紀はじめ頃琉歌歌人として活躍した女性です。ナビーの生きていた時代は、琉球文化の黄金時代とよばれ、文学・音楽・舞踊と一流の文化人が輩出すると同時に、庶民の間にも琉歌という歌が流行っていました。

恩納村の美しい自然の中ナビーは、自由奔放かつ大胆な歌を数多く残しました。

恩納奈邊記念碑



恩納ナビーの歌碑



なみ ぬ くいん どう まり
波の 声もとまり

かじ ぬ くいん どう まり
風の声もとまり

す い ていん が なし
首里天加那志

み うん ち ら が
美御機拝ま



歌意は、「波も風も穏やかになってほしい。はるばる国王が万座毛に立ち寄られるのだから、その顔を拝みたいものだ」。昭和3年に建立されましたが、第2次世界大戦後に移設を余儀なくされました。現在の歌碑は、碑建立50周年を記念して、昭和54年に建てられたものです。なお、書体は沖縄書道界の大家・謝花雲石氏によるものです。

巖谷小波の句碑

童話作家の巖谷小波が琉歌で知られる恩納ナベの歌碑を訪れた昭和7年秋（碑には昭和6年とある）に詠んだ句を後世に残そうと、恩納村教育委員会が昭和58年に碑を建立しました。

句碑には「しぐれけりおんな詩人の碑を訪へば」の詩句が刻まれています。

書体は、佐久本興吉氏。



万座毛周辺活性化施設



お土産品店や飲食店、展示スペースや展望台を備えた施設。施設は3階建てで、1階は地域特産品コーナー、2階は飲食店や売店、3階には海が一望できる展望デッキが設けられています。施設内はフリーWi-Fiが通っており、どなたでもご利用いただけます。



1階 お土産品店



1階 展示コーナー



2階 飲食・休憩スペース



3階 展望デッキ

【テナント】

- 1階…SHOP MANZAMO、恩納酒造所、沖縄工芸村
イーナストゥディオスズー、貸し会議室
- 2階…琉球料理 松ノ下、琉球銘菓 三矢本舗
元祖 海ぶどう、パーラーゆい、恩納共同売店
- 3階…展望デッキ

施設情報

MANZAMO

- ◆営業時間：8：00～20：00（4月～10月）
8：00～18：00（11月～12月）
8：00～19：00（1月～3月）

※季節により変動する事がございます。
ホームページ、又はお電話にてご確認ください。

- ◆観覧料：100円（大人・小人同額）
※小学生未満無料

観覧料は万座毛周辺の環境保全に
活用させていただきます。



万座毛株式会社
MANZAMO Co., Ltd.

〒904-0411 沖縄県国頭郡恩納村字恩納 2767
TEL：098-966-8080 / FAX：098-966-8087
<https://www.manzamo.jp>

注意事項とご協力のお願い

- 万座毛一帯は沖縄県指定の文化財保護区域となっております。
無許可での改変は法律で禁止されています。
- 植物の持ち出し、持ち込み禁止。
- 景観と植物の保護地域となっております。そのため、文化財保護の観点と観覧者の安全確保のために陸域の上空はドローン飛行禁止とさせていただきます。
- 景観と植物群落の保護にご協力お願いいたします。持続可能な文化財保護及び管理のため、皆様のご理解とご協力のほどお願いいたします。



恩納村博物館

TEL 098-982-5112

恩納村商工観光課

TEL 098-966-1280